

平成14年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成14年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成14年12月17日(火)～18日(水)に池之端文化センター、植調会館において開催された。

この検討会には、試験関係者等計84名が参集し、前回未検討を含め除草剤15薬剤(54点)、生育調節剤10薬

剤(46点)について、試験成績の報告後、慎重な検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次表に示すとおりである。

平成14年度 春夏作野菜花き関係委託試験判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AH-01 液剤 新規化合物 10.5%	野菜一 般	作用性 新 規	植調研究所	[一年生雑草全般] 播種または定植前 雑草生育期 ; 300, 400, 500mL<100～150L> ; 全面茎葉処理 生育期 雑草生育期 ; 300, 400, 500mL<100～150L> ; 畦間茎葉処理 (1) 対)ハース液剤 300mL<100～150L>	—	
	キャベ ツ	適用性 新 規	植調岩手 長野野菜花き試 鹿児島農試大隅	[一年生雑草全般] 定植前 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 全面茎葉処理 生育期 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 畦間茎葉処理 (3) 対)ハース液剤 300mL<100～150L>	継	継) 成分未公開。 効果、薬害の確認。
	ナス	適用性 新 規	新潟農総研園研 茨城農総研園研	[一年生雑草全般] 定植前 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 全面茎葉処理 生育期 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 畦間茎葉処理 (2) 対)ハース液剤 300mL<100～150L>	継	継) 成分未公開。 効果、薬害の確認。
	トマト	適用性 新 規	長野中信試 愛知農総研園研	[一年生雑草全般] 定植前 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 全面茎葉処理 生育期 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 畦間茎葉処理 (2) 対)ハース液剤 300mL<100～150L>	継	継) 成分未公開。 効果、薬害の確認。
	メロン	適用性 新 規	茨城農総研園研 長崎農林試	[一年生雑草全般] 定植前 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 全面茎葉処理 生育期 雑草生育期 ; 300, 500mL<100～150L> ; 畦間茎葉処理 (2) 対)ハース液剤 300mL<100～150L>	継	継) 成分未公開。 効果、薬害の確認。
[明治製菓]						

A. 野菜関係除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
2. ANK-553 乳剤 ベンディメタリン 30% [BASFファロ]	ニラ	適用性 新 規	植調研究所 栃木農試 群馬園試 鹿児島農試大隅 (4)	[一年生雑草(サコ、ツクサを除く)] 定植後 雑草発生前 ; 200, 300, 400mL<100L> ; 全面土壌処理	継	継) 効果、葉害の確認。
3. HOK-226 水和剤 インダナ 12.5% リニロン 12.5% [北興化学工業]	タマネギ	作用性 新 規	植調北海道 植調十勝 (2)	[一年生雑草全般] 定植後 雑草発生前 ; 150, 200, 300g<100L> ; 全面土壌処理	—	
4. KUH-901 細粒剤 ベンチオカブ 8% リニロン 1.2% ベンディメタリン 0.8% [クミイ化学工業]	サトイモ	適用性 継 続	埼玉農総支園支 千葉北総 三重農試 宮崎総農試畑園 鹿児島農試大隅 (5)	[一年生雑草全般] 植付後 雑草発生前 ; 4, 5kg ; 全面土壌処理	実	実) [露地普通; 一年生雑草全般] ・ 植付後 雑草発生前 4~5kg/10a 全面土壌処理。
5. S-604 乳剤 クレジム 23% [住友化学工業]	キャベツ	適用性 継 続	花・野菜技 道南農試 北見農試 長野野菜花き試 広島農試 (5)	[一年生イネ科雑草] イネ科雑草3~5葉期 ; 50, 75mL<100L> ; 全面茎葉処理 対)ナブ 乳剤	実	実) [春~夏播栽培; 一年生イネ科雑草] ・ イネ科雑草3~5葉期 50~75mL<100L>/10a 全面茎葉処理。 注) イネ科雑草優占圃場で使用する。 広葉雑草が発生する場合は、土壌処理剤との体系処理で使用する。
6. SMC 油剤 トリフルリン 40% 1,3-ジクロロプロペン 52% [エスディエスアイテック、三井化学]	野菜一般	適用性 継 続	植調岩手 栃木農試 三重農試 広島農試 福岡農総試園研 (5)	[一年生雑草全般] 播種、定植10~15日前 雑草発生前 ; 20, 30L ; 土壌灌注処理 処理後7~10日間ビニル被覆→被覆除去後ガス抜き(耕起)→3~4日間放置して作付 対)トリフルリン液剤 20L	実	実) [春~夏播栽培; 一年生雑草全般] ・ 播種または定植10~15日以前 雑草発生前 20~30L/10a 土壌灌注処理。 注) 処理後7~10日以上ビニル被覆し、作付3~4日以前に耕起によるガス抜きを十分行う。
7. SSH-130 粒剤 トリフルリン 1.2% ベンディメタリン 1.2% [ハイルクロップサイエンス]	ネギ	適用性 継 続	道南農試 植調北海道 (2)	[一年生雑草全般] 定植直後 雑草発生前 ; 4, 5, 6kg ; 全面土壌処理	実	実) [露地移植; 一年生雑草全般(サコ、ツクサを除く)] ・ 定植後 雑草発生前 4~6kg/10a 全面土壌処理。
8. TMZ-9911 液剤 30%メチル 99.5% [アリスタ ライフサイエンス]	野菜一般	作用性 新 規	植調岩手 植調研究所 奈良農試 (3)	[一年生雑草全般] 播種、定植前 雑草発生前 ; 20, 30kg ; <くん蒸 缶を設置後ビニル被覆→3日以上くん蒸→被覆除去後7日放置、その後ガス抜き(耕起) 対)トリフルリン液剤 30L	—	

A. 野菜関係除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量・mL/水量L/a ; 処理方法等	判 定	内 容
9. クロビ [®] クリン 錠剤 クロビ [®] クリン 70% [南海化学工業]	野菜一 般	適用性 新 規	青森畑園試 茨城農総試園研 愛知農総試園研 奈良農技 島根農試 (5)	[一年生雑草全般] 播種、定植17日前 雑草発生前 ; 10, 15錠/m ² ; 土壌混和处理 ; 10, 15錠/m ² ; 土壌表層処理 処理前に畦立て→処理後10日 間ビニル被覆→被覆除去後7日 間自然放置して作付 対) クロビ [®] クリン液剤 30L/10a	継	効果、薬害の確認。
10. ZK-122 液剤 グリホサートカリウム塩 43% [シンジェンタジャパン]	野菜一 般	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[一年生雑草全般] 播種または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ; 250mL<25, 50L>, 500mL<25, 50L>, 1000mL<25L> ; 全面茎葉処理 対) ラウンドアップハイロード [®] 液剤 250mL<50L>	—	
11. MCN-8501 液剤 ナトリウム・メスチン オルホハート 30% [キルバ [®] 協議会; 三菱商事]	野菜一 般	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[一年生雑草全般] 播種、定植20日以前 雑草発生前 ; 60L<6000L> (100倍) ; 土壌表面処理 (灌水あり)、 土壌表面処理 (灌水なし)、 土壌混和处理 対) キルバ [®] 液剤 40L 土壌灌注	実・継 (従来通り)	実) [春～夏播栽培; 一年生雑草全般] ・播種または定植20日以前 40L/10a 土壌灌注。 注) 処理後がリフィルム等で被覆、 10日後に被覆を除去し耕起 によるガス抜き。 継) 土壌表面処理、土壌混和处理での効果の確認。
		適用性 新 規	青森畑園試 植調研究所 長野野菜花き試 (3)	[一年生雑草全般] 播種、定植20日以前 雑草発生前 ; 60L<6000L> (100倍) ; 土壌表面処理、 ; 60L<180L> (3倍) ; 土壌混和处理 処理前に畦立て→処理後10日 間ビニル被覆→被覆除去後ガス 抜き→10日間放置して作付 対) キルバ [®] 液剤 60L 土壌灌注		
12. Hoe-866 液剤 グリホサート 18.5% [ハインクロップサイエンス]	オクラ	自 主	徳島農技 高知農技 (2)	[一年生雑草全般] 生育期 雑草生育期 (草丈20cm以下) ; 300, 500mL<100L> ; 畦間茎葉処理	実	実) [一年生雑草全般] ・生育期 雑草生育期 (草丈20cm以下) 300～500mL<100L>/10a 畦間茎葉処理。 注) 作物にかからないように散布する。

B. 平成13年度 秋冬作分 野菜関係除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判定	内 容
1. 如比 [®] クリン 錠剤 如比 [®] クリン 70% [南海化学工業]	野菜一 般	適用性 新 規	鹿児島大隅 (1)	[一年生雑草全般] 播種、定植17日前 雑草発生前 ; 10, 15錠/m ² ; 土壌混和处理 ; 10, 15錠/m ² ; 土壌表層処理 処理前に畦立て→処理後10日 間ビニール被覆→被覆除去後7日 間自然放置して作付 (1) 対) 如比 [®] クリン液剤 3000mL/a	継	・前回判定済.

C. 花き関係除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判定	内 容
1. NC-302P 乳剤 サ [®] ロホップ [®] -P-エフル 5% [日産化学工業]	ツツジ ・サツ キ	適用性 継 続	奈良農技高原 鳥取園試 (2)	[一年生イネ科雑草(ス [®] ノカキビ [®] ラ を除く)] 雑草生育期 (イネ科雑草8葉期ま で) ; 300mL<150L> ; 全面茎葉処理 対) シカット (NC-302) 乳剤 300mL<150L>	実	実) [(サツキ, ツツジ) 露地普通; 一年 生イネ科雑草(ス [®] ノカキビ [®] ラを 除く)] ・雑草生育期 (イネ科雑草8葉期 まで) 300mL<150L>/10a 全面茎葉処理. 注) イネ科雑草優占圃場で使 用する。 広葉雑草が発生する場合 は、土壌処理剤との体系処 理で使用する。
2. SMC 油剤 如比 [®] クリン 40% 1, 3-ジ [®] クロロ [®] ロベン 52% [エス [®] イーエス [®] イテック, 三井化学]	花き一 般	適用性 継 続	茨城農総研 長野野菜花き試 福岡農総試園研 (3)	[一年生雑草全般] 播種、定植10~15日前 雑草発 生前 ; 20, 30L ; 土壌灌注処理 処理後7~10日間ビニール被覆→ 被覆除去後ガ [®] ス抜き(耕起)→3 ~4日間放置して作付 対) 如比 [®] クリン液剤 20mL	実	実) [春~夏播栽培; 一年生雑 草全般] ・播種または定植10~15日以前 雑草発生前 20~30L/10a 土壌灌注処理. 注) 処理後7~10日以上ガ [®] ス リ [®] ル [®] 等で被覆し、作付3~4日 以前に耕起によるガ [®] ス抜き を十分行う。

D. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. CA-21 水和剤 シュウト' ムス' フ' 1×10^3 cfu/g [セントラル硝子]	トウガラシ	適用性 新 規	京都農総研 京都農総研(現地) (2)	[苗の生育促進、初期収量の増 加] 播種培土への混和→鉢上げ時灌 注 ; 混和: 培土の1%(W/V)→ 灌注: 100倍(2mL/株)	継	継) 効果の確認.
2. S-327D 液剤 ウニコザ' -LP 0.025% [住友化学工業]	タマネギ	作用性 新 規	北見農試 植調北海道 (2)	[育苗期の伸長抑制] 播種前に育苗培養土に混和 ; 8, 16, 32mL/培養土20kg <4L/培養土20kg>	—	
	レタス	適用性 継 続	上川農試 北見農試 長野野菜花き試 兵庫中央農技 兵庫淡路 香川農試 (6)	[育苗期の伸長抑制] 播種後 出芽前 ; 250, 500, 1000倍 <各50, 100mL/セトレイ> ; 土壌処理 対) 水 100mL/セトレイ	実	実) [育苗期の伸長抑制] ・播種後出芽前 土壌処理または 子葉展開期〜本葉2葉期 茎 葉処理 250~1000倍 <50~100mL/セト レイ> 1回処理. 注) 早期の処理ほど生育が遅 れる場合がある。
		適用性 継 続	上川農試 北見農試 長野野菜花き試 兵庫中央農技 兵庫淡路 香川農試 (6)	[育苗期の伸長抑制] 子葉展開期 ; 250, 500, 1000倍 <各50, 100mL/セトレイ> ; 茎葉処理 対) 水 100mL/セトレイ	実	
		適用性 継 続	上川農試 北見農試 (2)	[育苗期の伸長抑制] 本葉2葉期 ; 250, 500, 1000倍 <各50, 100mL/セトレイ> ; 茎葉処理 対) 水 100mL/セトレイ	実	
3. T-2000S 覆土 FPT-9601 (Pseudomonas fluorescens) 10^3 cfu/g 覆土 [多木化学]	トマト	適用性 継 続	茨城農総研 長野中信試 兵庫中央農技 福岡農総研 (4)	[育苗期の伸長抑制] セル育苗の覆土として使用(育苗 培地は慣行を使用) ; 600mL/200穴トレイ	実・ 継	実) [育苗期の伸長抑制] ・セル育苗の覆土として使用 600mL/200穴トレイ. 継) セトレイの種類と効果の確認.
4. ヒド' ロキイナザ' -ル ヒド' ロキイナザ' -ル 30% [三共]	イチゴ	適用性 継 続	栃木農試栃木 福岡農総研 熊本農研セ (3)	[高設採苗での挿し苗の発根促 進] 挿し苗 浸漬処理 ; 1000倍(常温30分間) 植付後 灌注処理 ; 1000倍<3L/培養土5L>	継	継) 効果の確認.
5. ジ' ベ' レ' ン 水溶剤 ジ' ベ' レ' ン 3.1% [日本ジ' ベ' レ' ン研究 会]	イチゴ	自 主	奈良農技 (1)	[果柄伸長促進] 頂花房の出蕾直後〜開花直前 ; 5, 10ppm<5mL/株> ; 株の中心部に散布	—	

E. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [作型; 目的] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. KUH-833FL フロアブル剤 プロベキサオンカルシウム塩 1% [クマヤ化学工業]	キク	適用性 継 続	長野野菜花き試 愛知農総試園研 島根農試 広島農技 福岡農総試園研 (5)	[花首伸長抑制] 発蕾期→摘蕾期 ; 200倍<50L>→200倍<50L> 300倍<50L>→300倍<50L> ; 茎葉処理 対)ビ-サイン液剤 ; 1000倍<50L>→1000倍<50L> 摘蕾期 ; 200, 300倍<50L> ; 茎葉処理 対)ビ-サイン液剤 1000倍<50L>	実	実) [花首伸長抑制] ・ 摘蕾期 1回処理または発蕾期 及び摘蕾期 2回処理 200~300倍<50L/10a> 茎葉処理. 注) 白色系品種で使用する。
2. OKY-500 液剤 12種類生葉抽出物 3.5% [林]	バラ	適用性 継 続	茨城農総研 (1)	[挿し木の発根促進] 挿し木直後から7日毎に5回散布 ; 500, 1000倍 ; 茎葉処理 <葉から十分したたり落ちる ように散布>	実	実) [挿し木の発根促進] ・ 挿し木直後から7日毎5回処理 500~1000倍 茎葉処理. 注) 葉から十分したたり落ち るように散布する。
3. SB-714 乳剤 ジクロロジイソプロピルエー テル 80% [エステ-イ-エスアイテック]	キク	適用性 継 続	愛知農総試園研 岐阜農総研 広島農技 福岡農総試園研 (4)	[挿し木の発根促進] 挿し木基部浸漬処理 (3時間) ; 1000, 2000, 3000倍	継	継) 効果、葉害の確認。
		適用性 新 規	愛知農総試園研 岐阜農総研 広島農技 福岡農総試園研 (4)	[挿し木の発根促進] 挿し木前 挿し床に全面灌注処 理 ; 3000, 4000, 5000倍<1L/m²>	継	継) 効果、葉害の確認。
4. ジベレリン 水溶剤 ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究会]	サクラ	自 主	山形園試 (H12, 13) (2)	[休眠打破による生育促進] 休眠期 ; 25, 50ppm ; 散布	実・ 継	実) [休眠打破による生育促進] ・ 休眠期 25~50ppm 花芽に散布. 注) 温湯処理と組み合わせて 使用する。 継) 効果、葉害の確認。
5. ガミジット 水溶剤 ガミジット 80% [日本曹達]	リンドウ	自 主	岩手農研セ (S53, 54, 55, 59) (4)	[節間伸長調節による伸長抑制] 展葉期以降 ; 100倍 1~3回処理 ; 茎葉処理	実・ 継	実) [節間伸長調節による伸長 抑制] ・ 展葉期以降 1~3回処理 100倍<10~40mL/株> 茎葉処理. 注) 複数回処理する場合は間 隔を2週間程度あける。 継) 効果、葉害の確認。